



やしお市民大学OB通信

やしお市民大学OB会編集委員会



「プロの講談を聴く会Ⅳ」P.2

駅前のアネックスでの開催に挑戦



法話を聴く会 P.5

「一日一生」、1日の大切さを改めて知らされました



楽習館フェスティバル P.4

参加者と一緒に楽しみました



大学院研究発表会 P.7

1年間の成果が発表されました



健康ウォーキング部会 P.3

泉岳寺にて義士たちに線香を手向けました



LINE スマホ講座 P.7

講座修了後の様子



やしお孤立問題研究会 P.5

頑張る「伊草団地の大きな輪」

その他記事のページ

役員会 第7～9回 P.4

20期同期会 P.6

特別寄稿「OB会忘年会」 P.8

グランドゴルフ部会「新年会」・「部会内大会」 P.6

やしお市民大学「自主研究発表会」 P.7

特別寄稿 やしお孤立問題研究会「新年会」 P.8

特集 赤穂浪士に纏わる話

今号は、OB 通信での初の試みとして、紙面構成に特集ページを設けることにしました。講談の演目「赤穂義士伝」と偶然にも健康ウォーキング部会の「赤穂義士の討ち入り後に辿った道を歩く」が同じ赤穂義士の話題ですので、表紙に続く見開きページに、講談当日の夕方に開かれた「神田伊織師を囲む会」の様子と合わせてまとめました。

講談の演目は3つで、始めは「母里太兵衛」が「福島正則」から名槍「日本号」を飲み取った、笑えて痛快な講談でした。次は「レ・ミゼラブル ああ無情」で、フランスの文豪ヴィクトル・ユゴーの傑作小説『レ・ミゼラブル』を講談のスタイルで語る演目でした。トリは、「赤穂義士伝」の「南部坂雪の別れ」でした。笑いあり、涙ありの感動の講談に時の経つのを忘れませんでした。

さて、健康ウォーキングに参加された方は、宿願を果たした赤穂義士に思いを寄せながら歩いたことでしょうか。貴重な体験に違いありません！



お陰さまで ほぼ満席に



前半の演目2つは 그레이의羽織で



太兵衛は大杯を煽ってしまう

ウォーキング部会 令和7年12月14日 【両国から泉岳寺】

神田伊織さんの講談は「赤穂義士伝」討ち入りの前夜の「南部坂雪の別れ」でした。

ウォーキング部会では赤穂浪士が実際に討ち入りのためにたどった両国から吉良邸へ、そして、その歴史

的な「義」の行いを追体験すべく、泉岳寺までの道のり（東銀座駅から泉岳寺は電車で移動）を歩いた。出発地点である両国の吉良邸跡は静かな公園になっていた。そこから吉良邸討ち入りを果たした一行は雪の降る朝方を軍行した。私達は本所松坂町吉良邸跡の碑、回向院、一の橋、御船宿跡、万年橋、清澄橋、平賀源内電気実験の碑、浪士たちが休息し甘酒を振る舞われたとされる「ちくま味噌」ではお味噌の販売があり買い物をして、隅田川沿いの道、永代橋に向う道を進む。一行は人目を避けつつも、最後の目的を果たすべく黙々と歩を進めたのだろう。泉岳寺へと向かう最後の坂道は、彼らにとってどのような思いを抱かせるものだったか。長い間秘め



道すがら説明の高札がありました



いざ赤穂義士の墓所へ

てきた主君の仇討ちという悲願達成の満足感、そしてその後の切腹という運命への覚悟。様々な感情が交差する中、一步一步、坂を上がっていく彼らの姿が目浮かぶようだった。泉岳寺の境内では四十七士の墓前に一本一本の線香を供え多くの煙が立ち昇り、今もなお彼らの「義」が多くの人々に記憶されていることを実感する。講談を聴き、ウォーキングを通じて歴史の道を実際にその距離と道のりを体感することで、赤穂浪士たちの忠義と苦勞、彼らを取り巻く感情の深さを感じ取ることができ、貴重な体験でした。 (14期 金澤文子)



全てのお墓にお線香を



ウォーキングも目的の1つ

神田伊織師を囲む会

12月7日に恒例の「講談を聴く会」を開催した夜に神田伊織氏をお招きし、ささやかに会食を有志16名で行いました。伊織さんは気さくな方で、ビールの注文をまとめて頼んで下さったり、まんべんなく皆さんと話をされたり、私生活の質問にも答えていただき、更に距離が縮んだように思いました。二つ目4年目でお忙しく全国を回って活躍されています。来年度も快く引き受けていただきました。今から楽しみにしています。 (14期 金澤文子)

赤穂浪士義士伝から

「南部坂雪の別れ」

自分なりに考えるに「討ち入り」ではなさそうだ。浪士の誰かについて、外伝的に語るのだろう。血の気の多い堀部安兵衛か、年端のいかない大石か、それとも・・・と考えてみ



緊張感が漂う中、話は進む

たものの、もの見事にかわされた。まったく、私の想像だにできなかった所に物語が潜んでいた。

元禄 15 年 12 月 14 日、大石内蔵助は、故浅野内匠頭の妻瑤泉院に会いに行く。そんな話があるとは、この年齢になるまでついぞ聞いたこともなかった。さらに、浅野長矩が刃傷に及んで切腹したのが前年の 3 月 14 日、この日というのが、浅野の月命日であったとは思ひもなかった。こちらが、知らずにいたことでも、大石のことだ。内匠頭の月命日に事を起こそうとは、かなり前から考えていて、だからこそ周到な準備をし、実行したに違いない。その準備の総仕上げが、瑤泉院に血判書を届けることだったのだろう。

話が佳境に入ると、赤い毛氈に座る講談師神田伊織は姿を消し、畳の上に向かい合う二人が見える。大石と瑤泉院、二人は顔を合わせたものの、なかなか話が噛み合わない。いや、噛み合わないのではない。大石がはぐらかしているのだ。瑤泉院がいつになったら仇を討ってくれるのだと水を向けて



瑤泉院は大石の本心を探る

も、大石は仇討ちの考えはないと言う。討ち入りの覚悟のほどを述べに来たのに、居並ぶ女中たちの前では秘密が漏れる。人払いすれば勘繰られる。大石のおかれた立場を、瑤泉院は理解できない。瑤泉院にすれば、一年九か月待たされた。主君の無念を晴らすのは、城代であるそなたではないか。月命日の今日の日こそなたは何を言いに来たのか。語り手の表情、仕草、声色に、瑤泉院の気持ちがちひしと伝わってくる。瑤泉院の無念の思いと仇討ちを願う心は、聴衆に伝わるだけではない。瑤泉院の前に座っている大石内蔵助の骨の髄に

までも沁みているのだ。瑤泉院の悲しみ恨みをよく理解するだけに、一層そっけなくあしらうのだ。情けない奴、薄情者と思われようとも、今日の討ち入りを成し遂げるまでのこと。覚悟のほどを武張った肩が語っている。冷静沈着な大石の背中越しに感情を抑えきれない瑤泉院を見る。満足のいく答えを聞けない瑤泉院は部屋を出る。大石は戸田局に袱紗包みを手渡して屋敷を後にする。

大石が帰った後、戸田局は袱紗包みの中に連判状を見つけ、急いで瑤泉院の寝室へ。瑤泉院の前で、戸田局が連判状の四十七人の義士の名を次から次へと淀みなく読み上げる。戸田局の声を聴くばかりなのに、瑤泉院の姿が見える。瑤泉院は泣いている。疑念は一瞬にして氷解し、大石等浅野の遺臣たちがまことの忠義の士だと気づいたのだ。折角訪ねてきた大石を責めぬいたことも悔やまれる。悔恨の涙、随喜の涙、安堵の涙・・・今は、吉良を討ち果たしているだろうか。思いめぐらす内にも使いが来る。ついに歓喜の涙となる。

話芸とはかくなるものか。複数の人物を語り分けるだけでなく、その人物に向き合う相手の表情・所作さえも想像させ、両者の心の内をのぞかせて、感動させず

にはおかないのだ。会が終わった後に残された、百二十余人の参会者の顔には満足の笑顔があった。会う人ごとに「ありがとう。良かったよ」と声を掛けられる。何のことはない。「誘ってくれてありがとう」と言うのだ。中には、「投げ銭を入れる箱が欲しかった。ただで聴かせてもらっては申し訳ない」と、感激を語る人もある。まずは成功と言えそうだ。



戸田の局は怪しい奥女中を組み伏せ、問いただす



戸田の局は一気に義士の名を



惜しめない拍手の中

(1 期 坂本藤次)

総会・役員会報告

第7回役員会

12月20日(土)15:00～ 楽習館市民団体活動室

(1) 活動報告

- ・学長懇話会 参加30名
- ・楽フェス 運営参加9名、好評、高齢者の参加あり
- ・講談 参加者123名(一般83、学生4、OB会員36)
良い点：準備、会場・控え室の設定、交通アクセス
課題：開催時期、投げ銭箱の設置、グッズ販売、
演目の事前確認とめくりの準備

(2) 今後の活動

- ・スマホ講座 1/28(水)セミナー1、補助員打合せあり
- ・法話を聴く会 2/5(水) 常然寺、駐車場十数台可
- ・総会について 4/25(土) メセナ集会室にて
- ・市協働推進課懇談会 第8回役員会にて
- ・八潮市の映画作りのお手伝い 情報収集から

(3) 各委員会で話し合い

第8回役員会

1月17日(土)13:30～ 楽習館市民団体活動室

(市協働推進課懇談会)

出席：五十嵐課長、松戸担当、OB会役員

- ・OB会の協力を得て、協働推進課が支援している市民活動をさらに活性化していきたい
- ・過日のアンケートについて
- ・OB会に今後期待すること
- ・町会・自治会の現状とそれに対する取組

(1) 活動報告 なし

(2) 今後の活動

- ・スマホ講座 1/28(水) 13:30～セミナー1
講師：12期 籠倉正美氏 補助員：4名
- ・法話を聴く会 2/5(水) 14:00～常然寺
- ・花桃まつり 3/14・15 駅前案内2名×6枠
- ・水辺の楽校 3/15 10名
- ・総会について 広報委員会の新設

(3) 各委員会で話し合い

第9回役員会

2月21日(土)13:30～ 楽習館市民団体活動室

(市民大学事務局から) 来年度の活動について

(1) 活動報告

- ・スマホ講座 参加20名、直近で再度開きたい
- ・法話を聴く会 参加27名、住職の思いが伝わった
- ・市民協働推進課懇談会 OB会の協力に期待を

(2) 今後の活動

- ・花桃まつり 駅前案内2名×6枠
- ・水辺の楽校 手伝い11名
- ・総会について 役員について、年間の反省・計画

(3) 各委員会で話し合い

協働活動

楽習館フェスティバル

令和7年11月30日(日)やしお生涯楽習館にて『楽フェス2025』が開催され、9時30分からの開会式から盛り上がりを見せ、温かくも過ごしやすい会場となりました。



会場内入り口広場の模擬店では、美味しい食べ物が並べられ、たくさんの方で賑わいました。館内には食事・休憩スペースもあり、出展が隙間なく設けられていました。入り口正面ではワークショップが開催され、作品づくりの体験を楽しんでいました。ステージ発表は、自由表現・芸術にあふれた日頃の成果が見られ、堂々とした発表は何れにも代え難い経験となったことでしょう。

やしお市民大学 OB会の折り紙を使ったコマづくり・プロペラづくりの体験は好きな色の折り紙を選ぶところから始まります。ハサミを使ってチョコチョコと出来上がったプロペラは上から下へクルクルと面白く着地します。落ちてくる様子が魅力的なのか沢山の人の目に留まり、「作りたい！」と体験にいらしていただきました。(20期 秋山忠司)

やしお孤立問題研究会

=やしお市民大学 避難所
運営ゲーム(HUG)講座 開催=



避難者の条件を判断して配置します

日時:12月13日(土)
13:30～15:30
場所:りーと八條2階
参加人数:22名
(市民大学1年生、2年生)

やしお孤立問題研究会は、毎年、やしお市民大学の講座に参加させて頂いています。避難所運営ゲーム(HUG)、クロスロードゲームを1年ごとに開催しています。今回は避難所運営ゲーム(HUG)を開催しました。条件の違う避難者をどのように避難所に受け入れるかを、グループ内で話して条件の書かれたカードを体育館の見取図においていきます。参加者からは、普段からご近所とのコミュニケーションの必要性、町会の存在が大である、又リーダーや本部の重要性がわかった、などの感想がありました。今回対応した孤立問題研究会のメンバーは5名でした。

(8期 原文雄)

「市民防災講座」 ～クロスロードゲーム～

日時:2月24日(火)
13:30～15:40
場所:伊草団地集会所
参加人数:28名



参加者の判断理由から
学べることもある

市民団体「伊草団地の大きな輪」が定期的を開催する市民講座に、昨年に引き続き、今年も参加させて頂きました。

講座はⅠ部、Ⅱ部構成で開催しました。Ⅰ部では基調講演として、流通経済大学の前原直子講師の「防災と福祉の一体化」について、わかり易く話して頂きました。前原先生の後、柳之宮町会長の狩野稔氏から「見直された首都直下型地震の被害想定」について話して頂きました。話の中に耐震性の無い建物の被害が大きくなり、甚大な被害が出るとありました。

Ⅱ部で、やしお孤立問題研究会が「クロスロードゲーム」を開催しました。参加者を5グループに分けて進めました。ゲーム開始直後は各グループから出てくる声小さかったです。進むにつれて皆さん声を出すようになりました。クロスロードゲームの参加者アンケートからは、「私自身介護が必要です。避難所で同じような人がいたら大丈夫と声掛けをする」、「とっさの判断が必要な時が幾つも出てくると思うが、対応はなかなか難しいです」、「もっと災害について勉強しないといけないと思いました」とありました。

今回対応したやしお孤立問題研究会のメンバーは6名でした。(8期 原文雄)

企画講座

『法話を聴く会』



写真を使ってお話でした

2月5日(木)に圀「常然寺」樋口良太住職のお話を27名で拝聴した。

お話は「圀」の地名、菊水堂、市内最大の石造物の「万人の塔」の紹介から始まった。

続いて、今日の住職を形作る人生の3つのターニングポイント①大正大学、②先代住職である祖父の死、③ブッ

ダガヤの訪問が紹介され、いずれも、寺の住職となるための大きな経験であったに違いない。

①では、ぼんやりとイメージしていたものが明瞭になり、深まり、広がったと想像される。

②では、「生きていることが当たり前のことではない」と気付いたという話だったが、寺を担う責任感を自覚したものと思う。

③は仏教の聖地を訪れ、菩提樹下に瞑想するお釈迦様を想像しただろう。しかし、それ以上に強烈な異文化に触れたことが人格形成の上で大きな影響を与えたはずである。

本題「一日一生」では4人の先人を紹介された。

内村鑑三 日本のキリスト教思想家・文学者・聖書学者

「一日は貴い一生である。これを空費してはならない」

一日は、それ自体がかけがえのない時間であって、長い一生の中のちっぽけな一部などではない。だから、「明日があるさ」などと今日やるべきことを明日に託して、今日という日を無駄にしてはいけない。

酒井雄哉 千日回峰行を二回成し遂げた大阿闍梨

「一日を一生のように生きよ。明日はまた新しい人生」

毎日の体調には変化があり、状況も絶えず変化し続けていて、同じようでありながら、一日一日がどれ一つとして同じ日などない。

松原泰道 臨済宗の僧侶。著書「般若心経入門」

「一日一日を全生涯と思って生きなさい」

全生涯のようと言うと大層なことのように思えるが、始まりと終わりがあって、所々に節目があれば一生涯のようになるのではないかと考える。

デール・カーネギー アメリカの作家、教師

「過去の失敗や未来の不安に心を煩わせずに、今日

という一日を新しい人生のように全力で生き抜く」

明日があるからと、明日に逃げては、今日が無駄になる。明日になれば、それも又今日なのだ。今日から逃れられないなら、この確かな現実、今日という日を、腹を据えてしっかりと生きなければならぬ。

書いているうちに、自分が成長していくような気持ちになった。その結果、一日一日をもっともっと、明るく楽しく元気に暮そうという気持ちになった。

(1期 坂本藤次)



樋口良太住職



本堂を背景に万人塔の説明を受ける



企画講座 LINE スマホ

講師 籠倉正美氏(12期生) 時間 13:30~15:00
日付 1月28日(水) 会場 楽習館 セミナー室1

この講座の目的は実際に操作してみることでした。AndroidとiPhoneに分かれてグループを作り、グループに一人、操作を手伝う補助員が付きました。

71号での予告で詳しい報告をと書きましたが、限られた紙面でお伝えすることが不可と分かり取り止めました。

お友達と確認し合うと理解が進むと思います。なお、当日の参加者は20名でした。(16期 鹿野雅巳)

MENU

友だち追加
グループを作る
長押しメニュー
プラスメニュー
ショートカットをHOMEに
スクリーンショット
ミュートメッセージ

部会活動

グランドゴルフ部会 「部会内大会」

2月17日(火)13:00~いつもの活動場所の大原グランドにて佐々木部長(14期)の企画によるミニ大会を部員15名中14名の参加者で行いました。この大会では参加者全員に賞品が用意され、優勝は野口氏(14期)準優勝は岡田氏(18期)、結果は僅差で決まりました。いつもとは違い、緊張感のある中でグランドゴルフを楽しむことができました。次回も楽しみです。(16期 鹿野雅巳)



優勝した野口氏

グランドゴルフ部会 新年会

グランドゴルフ部会午年の新年は山本家(16期)で賑々しくスタートしました。13時からの定期練習をそこそこに切り上げて16時集合、早速、佐々木会長の乾杯合図で新年会に突入しました。

当日6日は松の内、抜けかけた正月気分もすぐに戻され、山本女将の豪華な手料理で舌鼓、中でも特大エビフライは大きさも味も圧巻、珍酒栗焼酎も振る舞われ、エンタイナー岡田氏(18期)のカラオケで盛り上がり、あっという間に時間が過ぎました。

大宴会は21時近くまで続き、締めの特製シホンケーキでお開き、またまた女将特製おにぎりと自家製パンをお土産に頂きました。



会場はもちろんサロンド山本

グランドゴルフ部は7人程でスタートし、昨年15人まで部員数が増えて、練習日も月4回を基本に大原グランドで行っています。2月には創部以来初の大会を企画、秋にはOB会恒例秋の白子温泉合宿と楽しい時間と健康維持を皆で共有しています。

(14期 平松伸介)

同窓生の話

20期「忘年会」

私たち20期生9名(欠席1名)は昨年11月29日に忘年会として和の雰囲気溢れ、心地よい静寂に包まれた「梅の花」越谷レイクタウン店において盛り上がる話題に華を咲かせました。その内容は年齢を重ねると誰でも感じる心身の痛み・不調でした。若いうちは多少の無理もできたが、今では永くは続かない、運動不足・生活習慣の見直しなく積み重なった不調を皆経験していて共通認識でした。職種はそれぞれ違えども通る道だったのです。どのように乗り越えどう立ち向かったかをそれぞれ語ったのでした。体調不良で欠席の私でしたが後日談で楽しい会で盛り上がって良かったと話を聞いて一緒に食事したかったなあと羨ましくもありました。年齢を重ねて持病はあれども、どう向き合うかが大事かと思い知りました。私も現役の時にお世話になってと笑い話が次回出来ればと強く思いました。

(20期 秋山忠司)



八潮市民吹奏楽団 第36回定期演奏会

令和8年2月22日(日)、八潮メセナに於いて八潮市民吹奏楽団 第36回定期演奏会を開催しました。これは八潮市文化協会委託事業として八潮市文化協会と八潮市教育委員会のご協力をいただき、毎年春先に行っている行事です。皆様の日頃のご支援のお陰を持ちまして開催できましたことに御礼申し上げます。

八潮市民吹奏楽団は1980年に創団したアマチュアの一般吹奏楽団です。当時は八潮市在住・在勤のメンバーで構成されておりましたが、現在は市内だけでなく都内や他県からも集まった団員とともに、日々楽しく音楽と向き合いながら活動しています。長年にわたり地域に根ざした音楽活動を積み重ね、その成果を数多くの市民の皆様の前で発表させていただいております。



今回の演奏会第一部は吹奏楽ならではの迫力と繊細さを感じさせるオリジナル曲を演奏しました。生演奏ならではの音の広がりを感じていただけたことと思います。そして



第二部は「時代を超えたヒーローたち」をテーマとし、幅広い世代に親しまれてきた楽曲を織り交ぜた聴きごたえのある演奏をお届けしました。お茶の間で愛されてきた懐かしい時代劇やアニメヒーローの曲、そしていつも耳にしてきたテレビCMの音楽を25曲メドレーでお楽しみいただきました。懐かしい音楽を聴いて、観客の皆さんの心にその頃の生活や思い出がふっと蘇ったことでしょう。

演奏する私たちもとても楽しく、心豊かな時間を過ごすことができました。私は吹奏楽を始めて約半世紀が経ちますが、歳月を重ねるにつれて音楽への関心がより深まり、楽しさが広がりました。

当団は毎年1回の定期演奏会と八潮市民音楽祭への参加に加え、地域イベントの依頼演奏や施設への訪問演奏などにも取り組んでおりますので、機会がございましたら是非私たちの演奏をお楽しみください。

現在、八潮市民吹奏楽団ではどのパートも仲間を募集しております。お気軽に練習の見学にいらしてください。毎週日曜日13時よりヤマスタジオで練習しております。見学をご希望の方は yashiwind@yahoo.

co.jp までご連絡ください。明るくのびのびとした雰囲気の中で気軽に参加できる楽団です。音楽を楽しむことが好きな方、是非お待ちしております。

(パーカッション、19期 佐藤美智子)

やしお市民大学関係

大学院研究発表会

日時：2月7日(土) 13:30～
場所：メセナ集会室

令和7年度大学院は18期生で、お二人の方が発表されました。

お一人目はテーマ『健康寿命の延伸をめざす運動の実践化に向けて』～気楽に続けて健康づくり～に取り組みされた木村佳江さん(大学20期生)、ご自身が市のスポーツ推進委員として活動されており、健康寿命の延伸のためにスポーツの可能性を研究されました。

お二人目はテーマ『増やしてはいけない負の遺産、無くそう危機遺産』～世界遺産や身近な文化財から分かった



こと…?!～」に取り組みされた坪坂昌子さん(大学20期生)、まとめとして、今を生きる私達が、後世に残すべきものは何かを考えていきたいとのことでした。(16期 鹿野雅巳)



自主研究発表会

日時：2月14日(土) 13:30～
場所：楽習館多目的ホール



テーマ『弱者の防災』～誰でも安全に、安心して、楽しく生活できるようにしたい～

グループ名
「0230
おじさん」

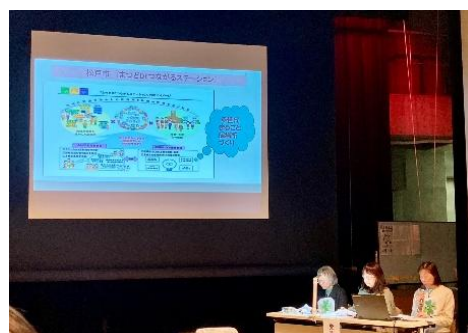
メンバー
小澤 登
小宮 広
酒井 芳夫



テーマ『障がい者もいずれ高齢者になる！高齢者もいずれ身体が衰え、障がいが出てくる！だからみんな共通のもんだいだよね～』

グループ名
「チームソルト」

メンバー
大口 幸子
関根 正江
西尾 恵一
with 安部 志穂



テーマ『見つけよう！世代間交流できる場所！』
～子ども・親・高齢者地域のつながりを求めて～

グループ名
「クローバー」

メンバー
田口 順子
尾崎佐池子
小倉 潤子

3グループによる発表が行われました。それぞれのグループが色々なところへ足を運び、体験したり、統計を取ったりして、いかに、地域の活性化になるか等をまとめられました。役立つことが沢山あります。是非参考にしてください。

(16期 白石和子)

特別寄稿

『飲めば酔い 酔うほどに飲み 周囲皆 善人となる 年忘れ会』 忘年会に参加して

酒飲めば 思わず
知らず 本音出る 腹
を割っての 議論が
できる / 年の暮れ
人生の暮れ 忘れ果
て 酒と料理に うつ
つを抜かず / 注ぎ注
がれ 酔って酔わせ
て 絡み合い 手を取
り合って マイクを
握る / 何事を話していたか 忘れる人 マイク握れば 正
調になる / 上半期 素直に反省 下半期 本気で議論 酒あ
ればこそ / 七十も 八十さえも 青春だ 皆がこうして 楽
しいのだから / 驚きと 発見がある 忘年会 人柄わかれば
みんな友達 / 何か 見つけたらしい 彼女こそ 瞳輝
く 乙女 そのもの / 遠慮なく 飲み食いしつつ 皿回す 小
さな気遣い できる 温もり / 誰もみな 昭和を胸に 宿し
つつ 皆したたかに 令和を生きる / 五十年 六十年を 振
り返る 昔は良かった 今も良いのだ / 今の今 この一瞬
を楽しもう この一瞬に 人生がある / さつきより 身近
になった 昨日より 親しくなった 酒盛り 万歳 / 十七人
よくも揃った 良い奴ら 相槌上手で 笑いが絶えず
令和七年十二月二十日 (1期 坂本藤次)



OB会員誰でも参加できる会

やしお孤立問題研究会 = やしお市民大 学 HUG 講座の振り返り・新年会 =

日時: 1月29日(木)
場所: 柳の宮公民館
→ 夢庵
参加者: 8名



1部は柳の宮公民館で、振り返りを行いました。令和7年12月13日やしお市民大学1、2年生対象に、避難所運営ゲーム講座の参加者からのアンケートをもとに、振り返り(反省)を行いました。アンケートからリーダーの重要性について記入されていたので、次回から副題として「リーダー育成」を掲げ、参加者には、初期段階の避難所でリーダーになる意識を持ってもらいます。

2部は新年会の為に夢庵八潮店へ移動しました。久しぶりに個性豊かな人達が一堂に会し、食事会を楽しみました。(8期 原文雄)

連絡事項

主なお知らせ

- ・楽習館全面改修工事に伴うOB会の活動場所
団体活動室での活動⇒4月から6月末までは楽習館1F 展示室が団体活動室として使用できるので利用し、7月からはメセナ1F 元喫茶室が団体活動室として使用できるので利用します。予約が取れない場合にはバスの便や駐車場のあるメセナ、八幡公民館、町会・自治会の会館などを利用します。
企画講座⇒会場の確保に苦労しそうです。
- ・市民大学事務局
学生募集中は現在の場所ですが、5月からは資料館(南後谷)に移ります。
- ・太極拳部会
毎週水曜日楽習館にて稽古をしています。
- ・グランドゴルフ部会
月に3、4回、火曜日の13:00~15:00、大原公園野球場で行っています。年会費3,000円、用具は市から無料で借ります。興味のある方はご連絡ください。
- ・水辺の楽校活動部会
3/15(日)の「春フェスタ」に参加します。活動に興味のある方はご連絡ください。
- ・やしお孤立問題研究会部会
防災を考える講座の避難所運営ゲーム(HUG)やクロスロードゲームに興味のある方はご連絡ください。

行事予定(7月まで)

- 4/18(土): 第11回「役員会」13:30~楽習館1F
- 4/25(土): 「総会」14:00~メセナ集会室
- 5/9(土): 第1回役員会 13:30~ 楽習館1F
- 5/16(土): やしお市民大学・大学院「入学式・進級式」13:30~メセナ集会室

次号73号(7月)の案内

花桃まつりに関連の2つの協働活動「駅頭案内」と水辺の楽校の「春フェスタ」、「令和8年度総会」、7月までの活動が記事になります。

投稿に当たって

- ・記事は300~700文字程度、写真があると内容が伝わりやすくなります。
- ・投稿は手段を問いません。下記編集委員に相談下さい。
- ・皆さんの自由な投稿を特別寄稿として掲載します。日頃の思いを投稿してください。

/編集後記/

紙面にお気づきの点がありましたらご連絡ください。

やしお市民大学 OB会編集委員会

編集委員 金澤 文子(14期)
白石 和子(16期)
中山 穂積(19期)
秋山 忠司(20期)

委員長/連絡先/記事送付先:
鹿野 雅巳(16期)

(PCメール) kleostar@nr2.so-net.ne.jp

(郵便) 〒340-0822 八潮市大瀬 4-1-11

(電話・Fax) 048-995-4892

(携帯メール) kleostar3@gmail.com

